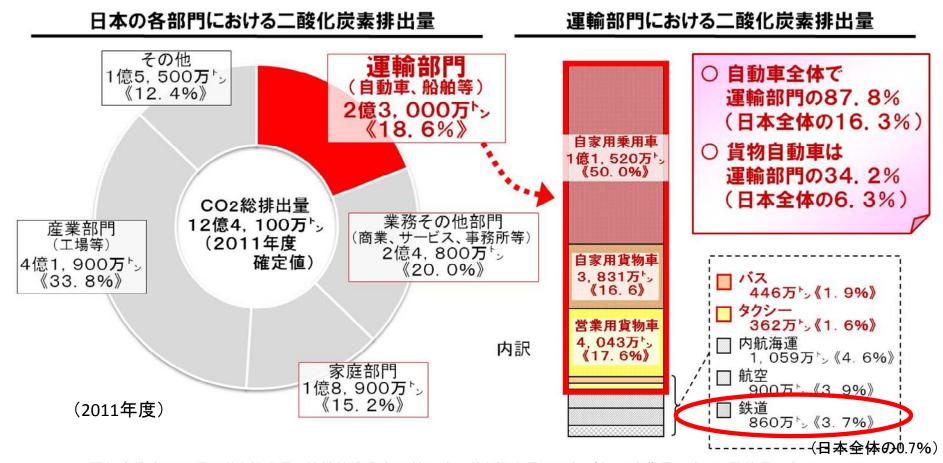


運輸部門におけるCO2排出量

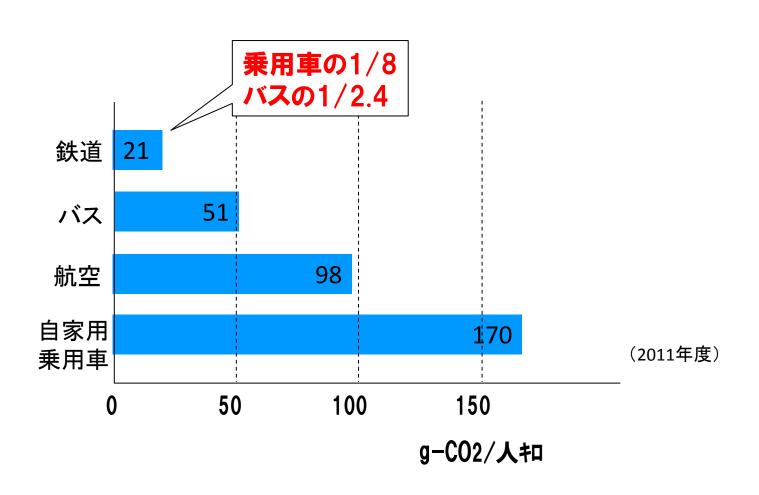


※ 電気事業者の発電の伴う排出量、熱供給事業者の熱発生に伴う排出量はそれぞれの消費量に応じて最終需要部門に配分 ※ 温室効果ガスインベントリオフィス「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」より国土交通省環境政策課作成

出典:国土交通省ホームページ

単位輸送量あたりのCO2排出量

旅客



JR東日本グループ経営構想V~限りなき前進~



「究極の安全」に向けて

サービス品質の改革

地域との連携強化

無限の可能性の追求

技術革新

新たな事業領域への挑戦

人を伸ばし、人を活かす 企業風土づくり 持続的成長

地域·社会

お客さま

コンセプトワード

株主·投資家

社 員

「地域に生きる。世界に伸びる。」

JR東日本

グループ

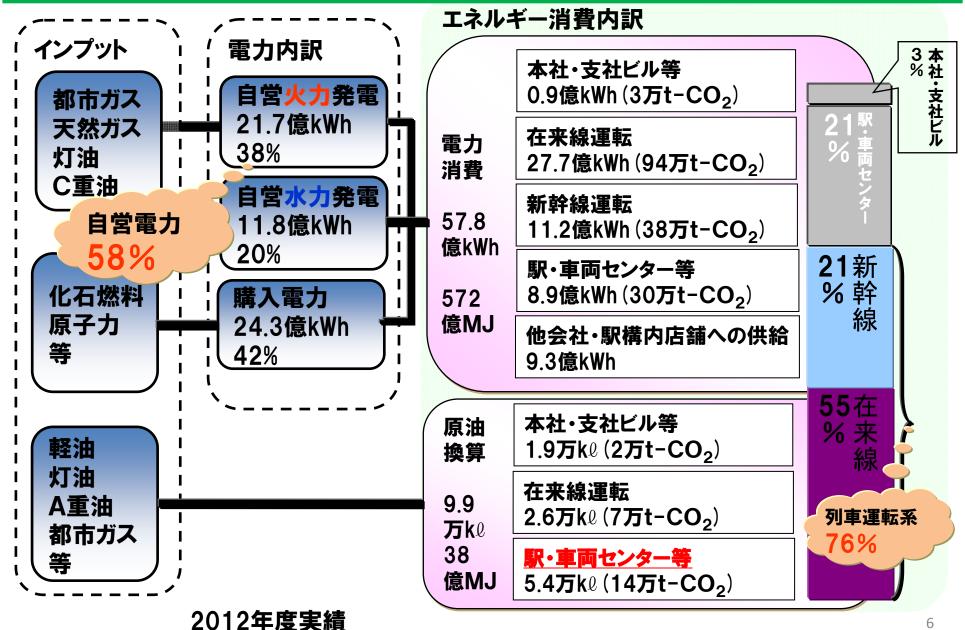
グループ経営構想Vにおける技術革新の柱



- ①JR東日本グループとして<u>エネルギー・環境戦略</u>を構築
- 2 ICTの活用により、「鉄道の業務革新」を実現
- ③新幹線の360km/hでの営業運転に向け、

研究開発を進める

JR東日本のエネルギーフローの現状

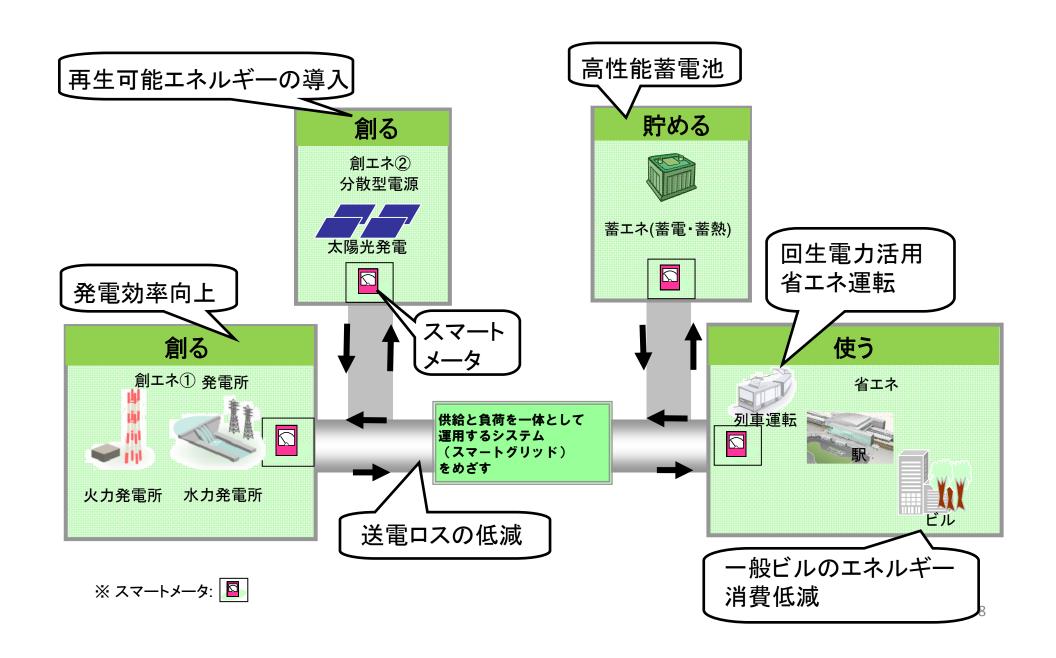


エネルギー・環境の技術革新戦略の課題

| 再生可能エネルギーの活用

- || 省エネルギー
 - •列車運転系
 - ·建物系
- Ⅲ 負荷と供給の一体運用

エネルギー・環境の技術革新



| 再生可能エネルギーの活用

- || 省エネルギー
 - •列車運転系
 - •建物系

III 負荷と供給の一体運用

京葉車両センターメガソーラーの導入

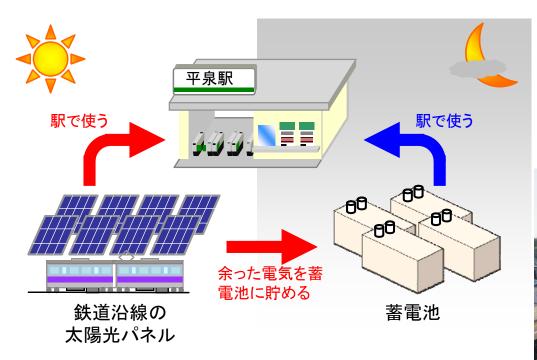


- •合計出力 1,050kW
- ·想定年間発電電力量 約1,000MWh



溜めて使う

東北本線平泉駅(ゼロエミッションステーション)

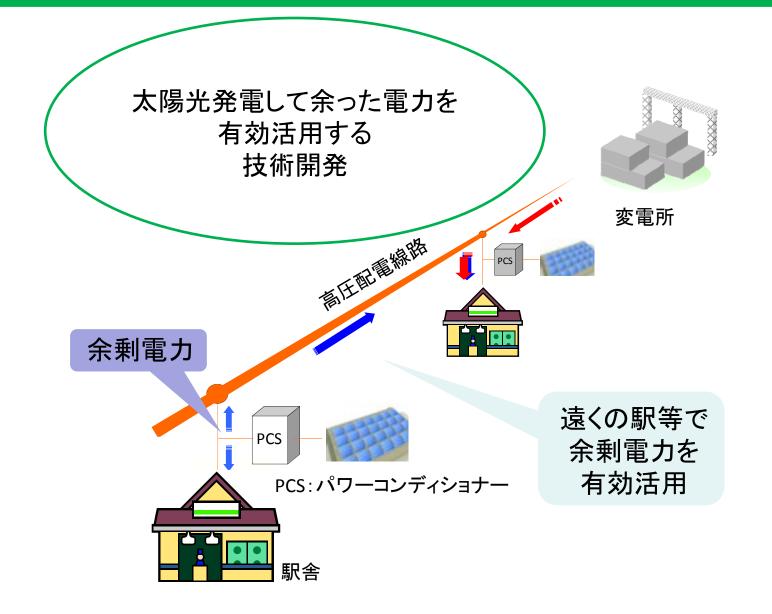


- ·合計出力 78kW
- ·想定年間発電電力量 約75MWh



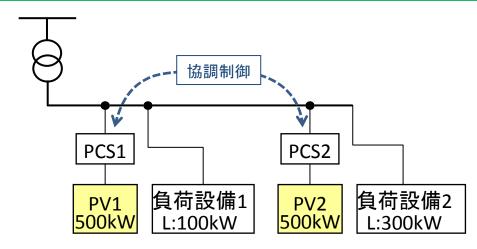


余剰電力の有効活用

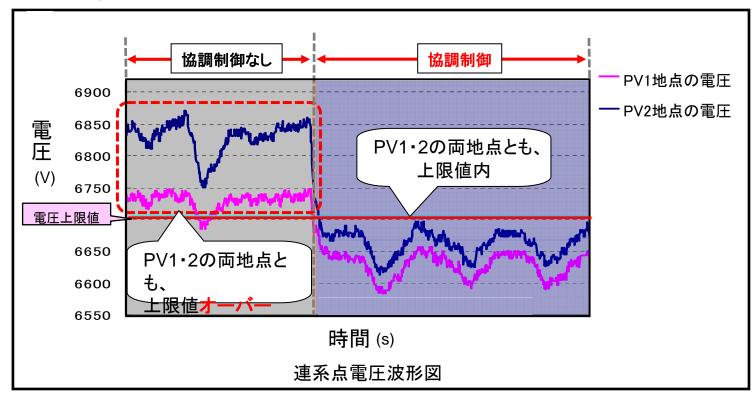


自営系統連系に向けた実証試験

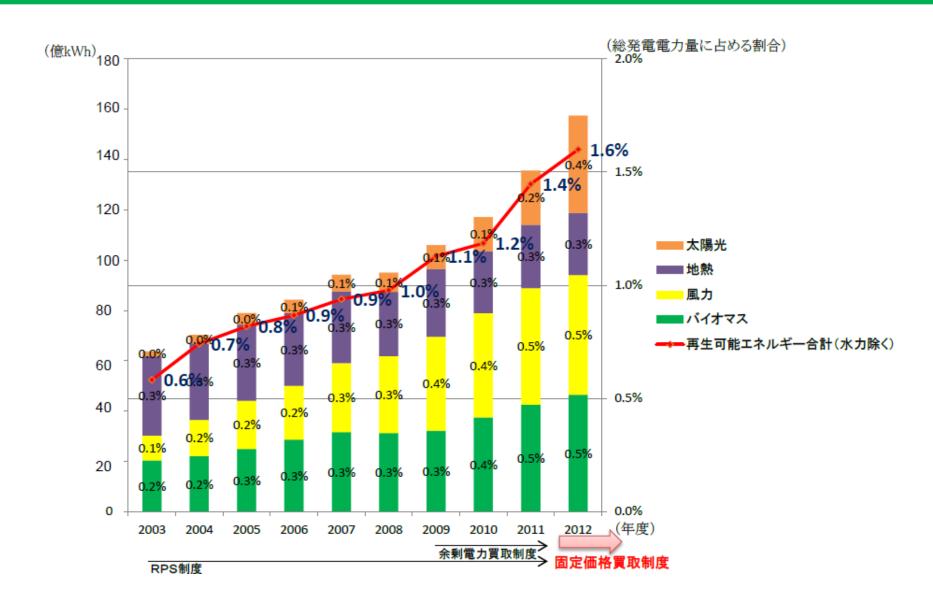
鉄道沿線設備のモデル化



実証試験結果

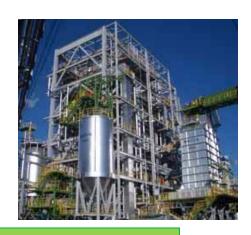


我が国の再生可能エネルギーの導入状況



JR東日本における風力・地熱・バイオマスの導入





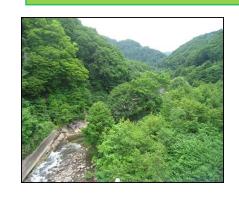
鉄道沿線の防風林等用地 を活用した風力発電





駅付近の温泉によるバイナリー発電

鉄道沿線の鉄道林等の未利用材を 活用したバイオマス発電





新たな地熱発電候補地の調査

| 再生可能エネルギーの活用

- || 省エネルギー
 - •列車運転系
 - •建物系
- III 負荷と供給の一体運用

JR東日本の諸元(1)

■ 営業線長 7512.6km

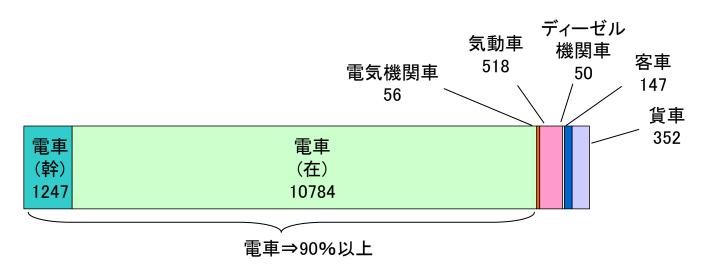
(新幹線) (1134.7km)

(在来線) (6377.9km)

■ 保有駅数 1,689

■ 利用者数 1650万人 /日

■ 保有車両数 13,157両



省エネ性能の進化(在来線車両)

103系(1963) 抵抗制御 発電ブレーキ



消費電力量

最高速度

100

100km/h

205系(1985) 界磁添加励磁制御 回生ブレーキ



66

110km/h

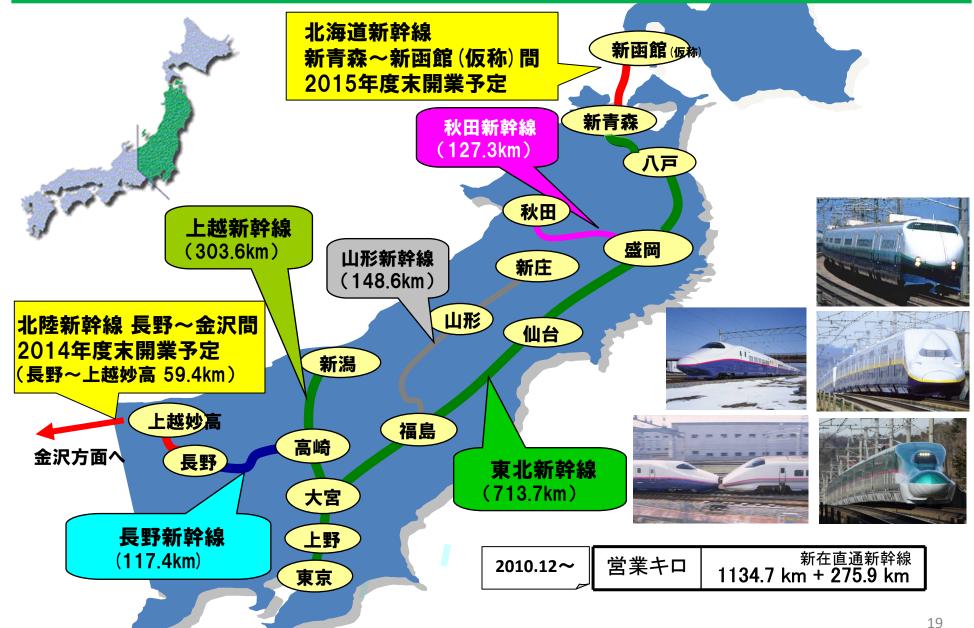
E231系(1999) VVVF制御 回生ブレーキ



47

120km/h

JR東日本の諸元(2)



省エネ性能の進化(新幹線車両)

200系(1982) 編成(12M)

サイリスタ連続位相制御チョッパ連続制御発電 ブレーキ



消費電力量

最高速度

100

240km/h

E2系(1997) 編成(8M2T)

VVVF制御 回生ブレーキ



69

275km/h

E5系(2009) 編成(8M2T)

VVVF制御 回生ブレーキ



67

320km/h

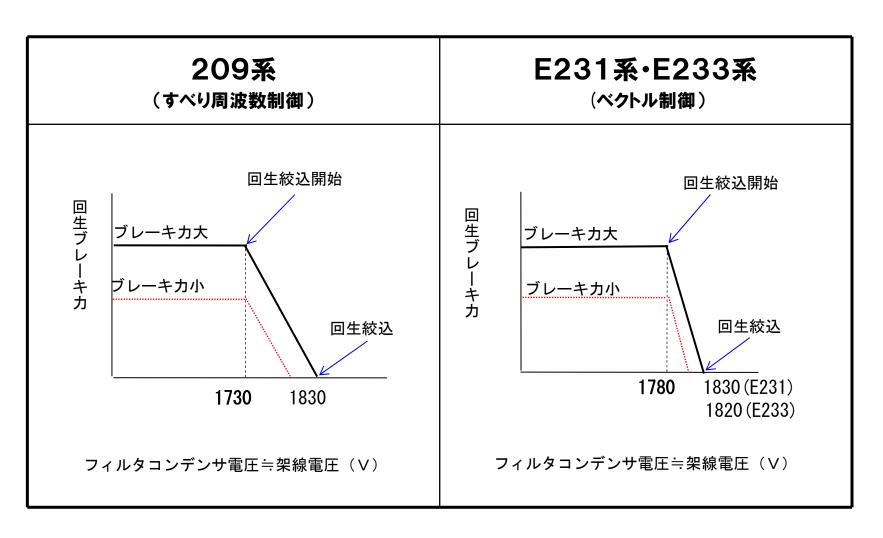
主回路システムの進化(1)

・・・・VVVF主回路システムの変遷・・・

	209系sc41	E231系 sc60	E233系sc90
主回路方式	SON ECITY CON CTVI	CWRe1 FCL1 SZIVI S	CTI SESSENTI
	3相電圧形3レベルPWMインバータ	3相電圧形3レベルPWMインバータ	3相電圧形2レベルPWMインバータ
素子	GTO 2500V 2000A ダイオート 2500V 500A クランプダイオート 2500V 500A × 2素子	IPM (IGBT+ダイオード) 2000V 600A クランプダイオード 2000V 400A	IGBT 3300V 1200A
	過電圧抑制サイリスタ 2400V 607A	過電圧抑制サイリスタ 2400V 607A 過電圧抑制トランジスタ 3300V 400A IGBT	

主回路システムの進化(2)

・・・・回生絞込み制御の変遷・・・



高効率な主回路システムの開発(1)

・・・「電車と電気機関車 |・・・

	駆動電動機	制御装置
直流電動機の抵抗制御	①広い速度範囲において高効率で使用できること ②速度制御が容易にできること ③起動時または勾配線区で大きな引張力が出せること ④並列運転の際の負荷の不均衡の少ないこと ⑤電源電圧の急変に対して耐えられること 「電車と電気機関車(福崎、沢野1964年)」より	
誘導電動機 のVVVF制御	①電力→動力の高効率変換④並列運転時の不均衡制御	②広い速度範囲でトルクを制御 ③VVVFによる起動制御 ⑤外乱に対する制御応答

高効率な主回路システムの開発(2)

・・・パワー素子の進化・・・

		進化	
整流器系	SCR → (ED78、201系)	GTO (207系、209系)	
	自己消弧能力なし (転流回路)	自己消弧能力あり 電流形ゲート駆動	
Tr系	 (E	GBT (Si) → 231系、E233系) _{電圧形ゲート駆動 高速スイッチング}	IGBT (SiC)

SiCデバイスの性能向上

低損失化 高温動作化 高耐圧化 高周波化

高効率な主回路システムの開発(3)

・・・SiC主回路システムの試作・・・

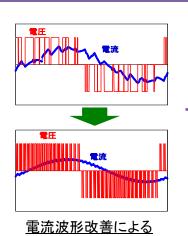
STEP1:2012年9月~2013年1月

VVVFインバータを試作・搭載

STEP2:2013年2月~2013年8月

・電気装架タイプの誘導電動機を試作・搭載

・VVVF制御方法を変更(高周波化、V/f低減)



<u>電流波形改善による</u> <u>高調波損失の低減</u>



<u>誘導電動機</u> 電気装架タイプ ※STEP2から



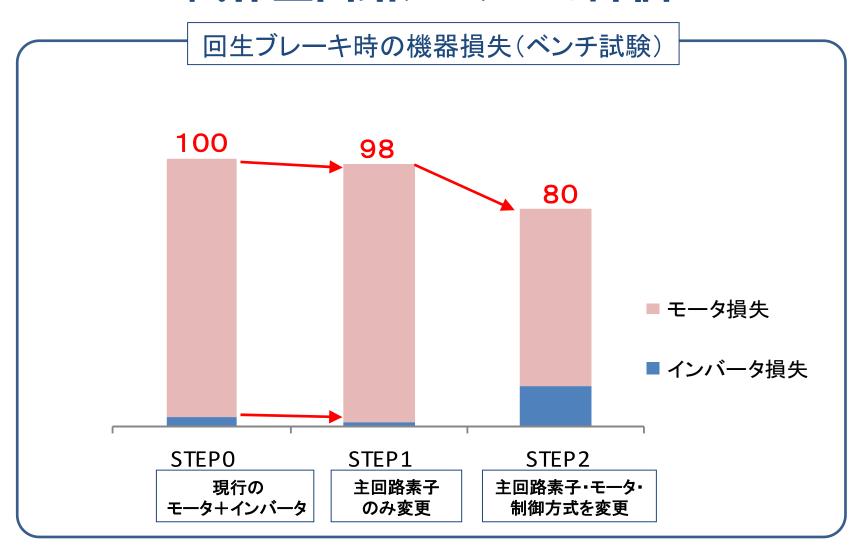
NEトレイン(スマート電池くん)に搭載して、 現車走行試験での評価を実施。



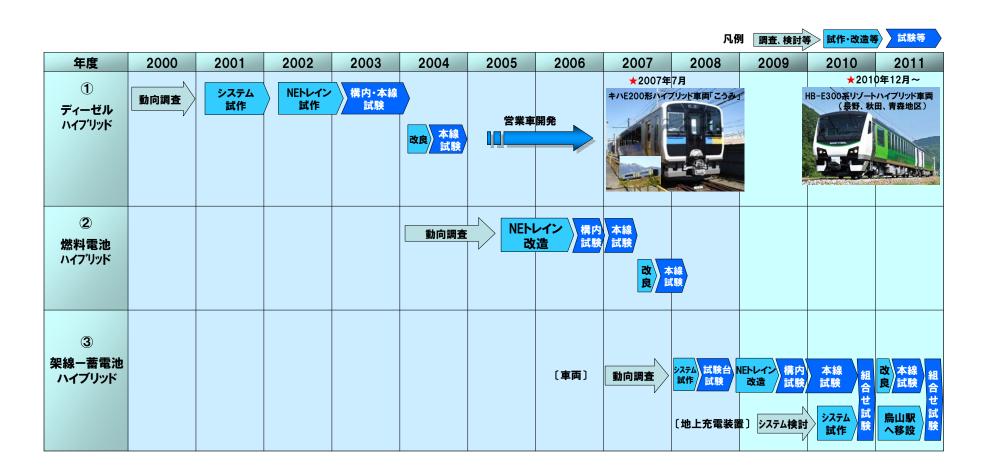
VVVFインバータ SiCパワー素子

高効率な主回路システムの開発(4)

・・・試作主回路システムの評価・・・



ハイブリッド車両の開発



蓄電池駆動電車のデビュー



| 再生可能エネルギーの活用

- || 省エネルギー
 - •列車運転系
 - ·建物系
- || 負荷と供給の一体運用

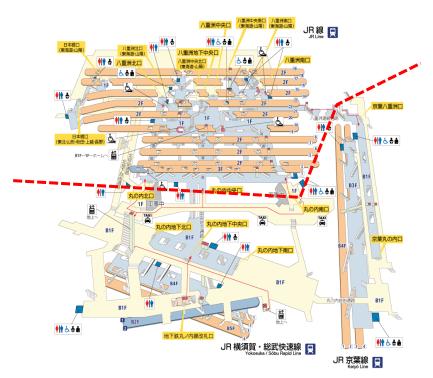
地下駅の空調負荷

東京駅冷房熱源の規模

地上駅

駅舎、コンコース

[1,867 RT]



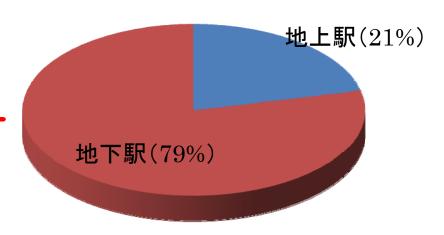
総武地下駅

[4,902 RT]

京葉地下駅

[1,978 RT]

冷房用熱源の割合

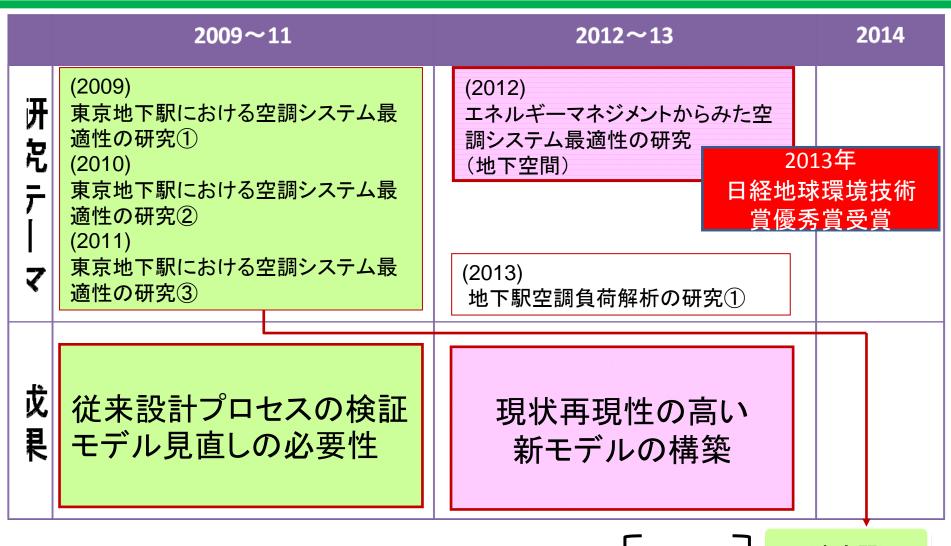


駅設備の中でも 地下駅空調負荷は桁外れに大きい

※RT(冷凍トン):1冷凍トンとは1日(24時間)に1トンの0℃の水を 氷にするために除去すべき熱量 30

1RT=3.86kW

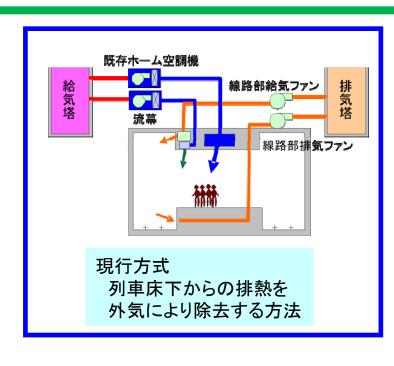
システムの最適設計(地下駅空調)(1)



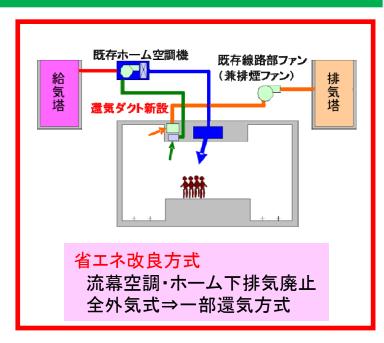
改良 工事 (東京駅) 総武地下 空調システム更新

システムの最適設計(地下駅空調)(2)

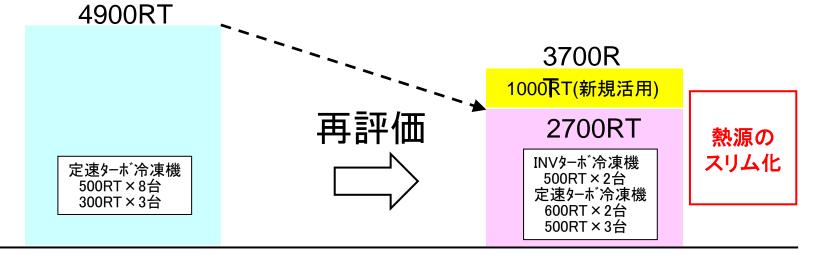
[ホーム空調方式の見直し]



省エネ改良



「熱源容量のスリム化



現行容量

更新計画

| 再生可能エネルギーの活用

- || 省エネルギー
 - •列車運転系
 - •建物系

Ⅲ 負荷と供給の一体運用

負荷と容量(1)

・・・負荷を知る・・・

エネルギー使用

一要求

機器容量

金子 要求

サービス・効用 (照明/空調/給湯)

省エネの第一歩は

- ・要求(負荷)を把握
- ・負荷を減らす

負荷と容量(2)

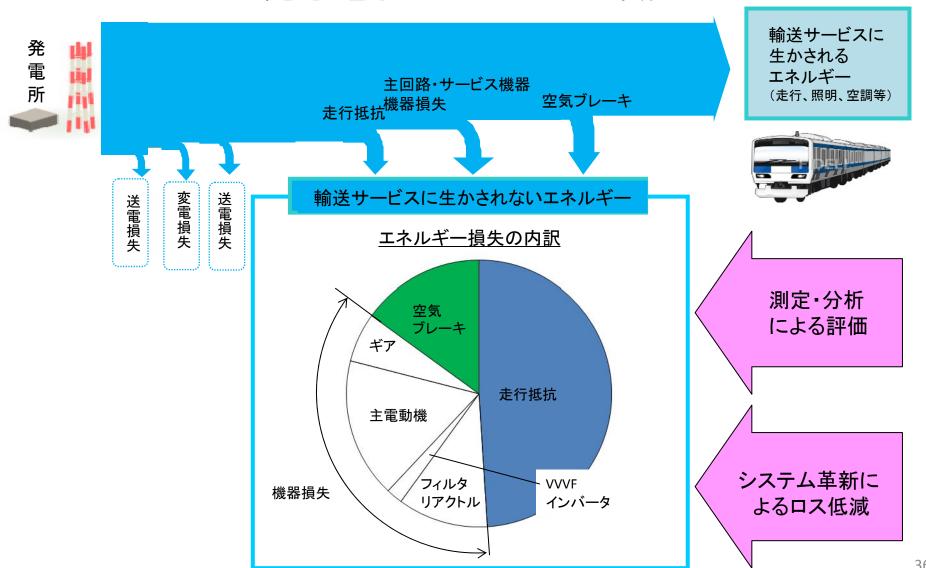
・・・最適化・・・

- ・負荷に合わせた容量設計
- ・負荷の変動 → 最適運転

- ・異なる負荷パターンの混在
 - → エリア全体の最適

列車運転のエネルギー損失(1)

・・・列車運転のエネルギー損失・・・



列車運転のエネルギー損失(2)

・・・ 損失を減らすには?・・・

・走行抵抗による損失を減らす

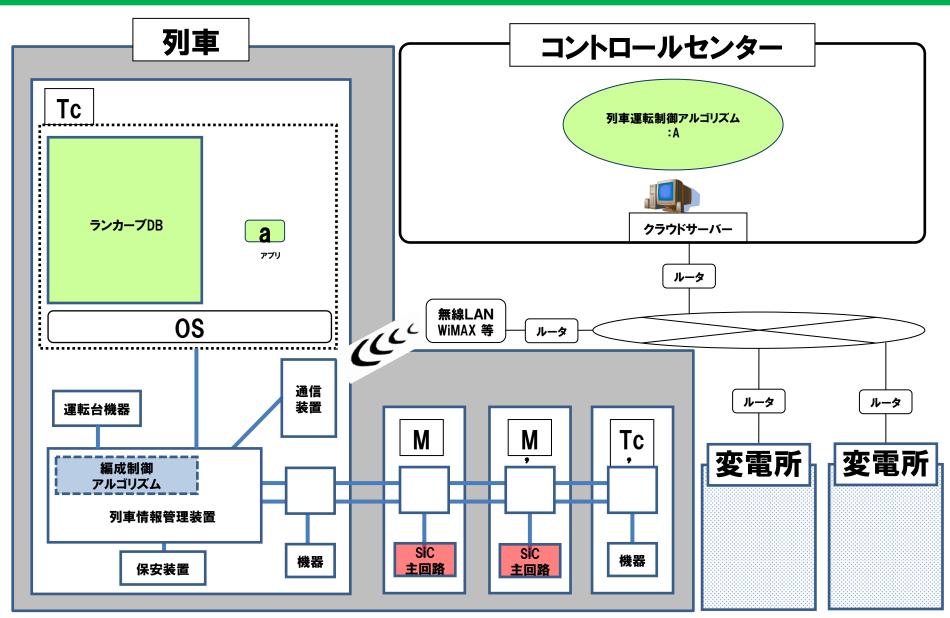
・機器損失を減らす

・ブレーキ損失を減らす

列車運転のエネルギー損失(3)

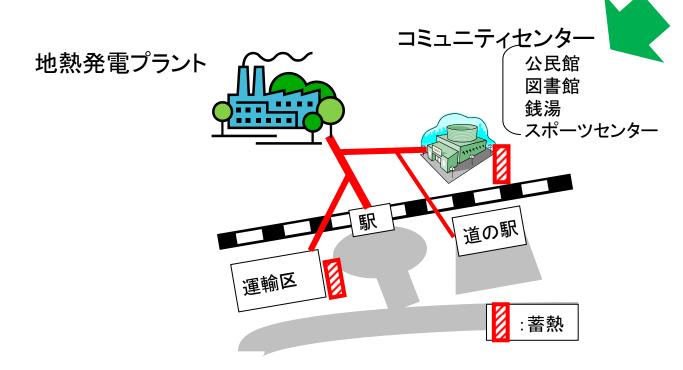
	ロスを減らすアプローチ		
	機器ロスを 減らす	走行抵抗ロス を減らす	回生ブレーキ の活用
車両主回路システム	SiCを用いた 主回路システム		SiCを用いた 主回路システム
列車編成	列車編成制御 アルゴリズム		
列車運転	だ行運転の活 用	最高速度を下 げる	回生エネルギー の有効活用
	列車省工	ネ制御アルゴリス	ベム

スマート省エネ運転を具現化するシステム

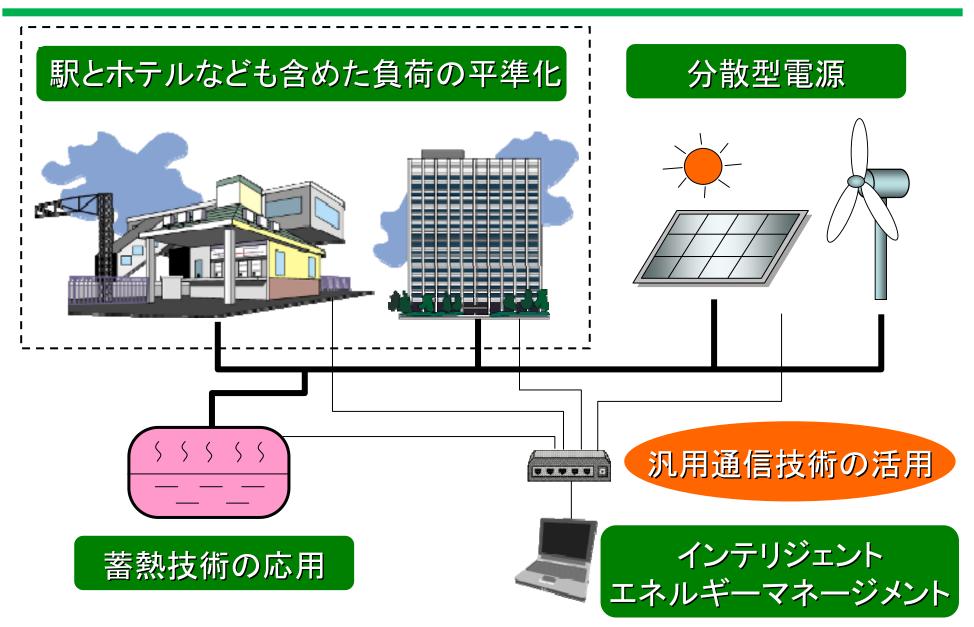


地域との連携

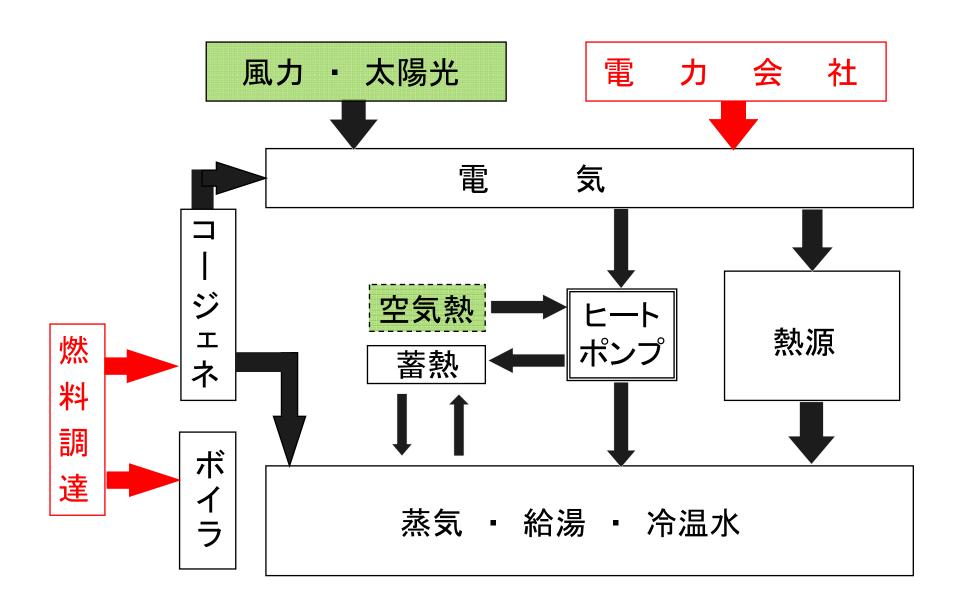
再生可能なエネルギーの問題点	風力	地熱	水力
エネルギー密度が低い	0	0	_
不安定	0	_	_
JR用地外の土地や資源を用いる	Δ	0	0
負荷	負荷が一箇所に集まらないと 地産地消が成立し難い		



エリア全体の最適化(1)



エリア全体の最適化(2)



鉄道システムの環境優位性

(1) レール上を走るメリット

- レール / 車輪
- ・ 電気エネルギーの活用
- (2)集積のメリット

ご静聴ありがとうございました

